

福島市洪水ハザードマップ

▶避難所に関するお問合せ先 福島市役所 危機管理室 電話024-525-3793 FAX024-536-4370
 ▶ハザードマップに関するお問合せ先 福島市役所 建設部 河川課 電話024-525-3756 FAX024-536-3271

1 浸水想定区域や避難場所等の確認と非常用持出品の準備をしておきましょう!



- 洪水ハザードマップには、洪水時に浸水が想定される区域や避難する場所が示されています。避難所・避難場所がどこなのか、そこに安全に行くにはどう行けばいいかを前もって確認し、地図に書き込んでおきましょう。
- 慌てて避難の準備を始めると、必要なものを忘れて、必要以上に時間がかかってしまうものです。あらかじめ非常時に持ち出すもの（非常用持出品）を準備し、家族で置き場所を確認しておきましょう。

※各種ハザードマップは、福島市ホームページでも確認いただけます。

洪水ハザードマップ
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/kasen-kanri/bosai/bosaiiki/hazard/kasen12032207.html>



土砂災害ハザードマップ
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/kasen-kanri/bosai/bosaiiki/hazard/kasen-kanri1.html>



2 家のまわりを点検しておきましょう!



- 家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨樋などは痛んでないか確認しておきましょう。
- 側溝や雨水桝の上にゴミや落葉がつもっていると、水がのみこめず、浸水の原因となります。側溝や雨水桝の清掃にご協力ください。



3 雨が強くなってきたら、気象情報を収集しましょう!

○テレビやラジオ、インターネット等で気象情報を確認しましょう。

インターネット情報

福島市公式ホームページ「福島市防災ウェブサイト」
<http://bousai.city-fukushima.jp/>

福島市の防災に関する各種取り組みや災害時の情報をご覧ください。また、福島地方気象台のホームページや国土交通省、福島県の河川情報ページへのリンク集を掲載しております。



国土交通省「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp/>

福島市簡易型河川監視カメラ
<http://city-fukushima.e-monitor.jp/city-fukushima/>

河川に設置されている水位計の情報やライブカメラの映像をご覧ください。



テレビによる情報収集

Dボタンを押して、気象警報や開設している避難所などを確認することができます。

NHKのデータ放送が詳細で、見やすい情報と思われまます。

その他、フェイスブック、ツイッターなど、様々なメディアを利用し、情報を配信しております。



福島市の登録制メール

メールで避難情報や開設している避難所などをお知らせします。

市の防災ウェブサイトから事前に登録してください。

迷惑メール対策を取られている場合は、diss-mlmg@bousai.city-fukushima.jpのアドレスを指定して受信可能な状態にしてください。

市で協定を締結したスマートフォンの防災アプリ「全国避難所ガイド」も併せてご利用ください。



臨時災害ラジオ放送

万が一災害が発生した場合、市では、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなど、災害に関する緊急情報をお知らせします。

緊急連絡先 福島市役所(災害時の対策本部) 535-1111 福島市消防本部 534-0119 (市外局番024)

制作・印刷(株)草野測器社

4 避難指示などの発令があったら、直ちに避難しましょう!



警戒レベル	避難情報等
5 災害発生又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~	
4 災害のおそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b>
3 災害のおそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)



## 5 避難のときは、こんなことに気をつけましょう!



- 避難所へ避難する場合は、浸水想定区域や土砂災害警戒区域を避けた避難経路を選択しましょう。
- 携行品は限られたものだけ(非常用持出品)にしましょう。
- 服装は軽装とし、帽子、雨合羽、防寒用品を携行しましょう。
- お年寄りや障がいのある方などの避難を手助けしましょう。また地域の皆さんにも声をかけて一緒に避難しましょう。
- 火気の始末をし、火災が発生しないようにしましょう。
- 戸締まりをしましょう。



## 洪水ハザードマップ凡例の解説

### 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

河岸浸食や氾濫流により家屋流出や倒壊の恐れのある区域です。

### 特に早期水平避難が必要な区域とは

家屋倒壊等氾濫想定区域と想定浸水深が3m以上の区域で、屋内避難(垂直避難)では身の安全確保が困難な区域です。

### 避難所とは

学校、公共施設など一定の期間避難生活を送るために避難する施設です。避難所のうち、高齢者や障がい者等で通常の避難生活が困難な方を対象とした福祉避難所もあります。

※指定避難所は、災害状況に応じて段階的に開設いたしますので、テレビ(データ放送)、ラジオ、福島市ホームページなどから、避難所開設状況を確認の上、避難してください。

### 避難場所とは

身の安全を確保するため、緊急的に避難するための場所です。

### 道路浸水箇所とは

アンダーパス等水が溜まりやすい箇所を表しており車両が水没する恐れがあります。避難の際には迂回する等危険を回避しましょう。

### 過去に浸水した場所とは

過去の洪水時に浸水した記録がある箇所を表しています。

### 土砂災害警戒区域とは

大雨や長雨などにより土砂災害の危険性は高まります。避難経路上に土砂災害警戒区域があるか事前に確認しておきましょう。